2019.03.17

中村寿夫

「あなたの前に立ち止まられる方」

ルカの福音書　19章1節～10節

はじめに

イエス様との出会いで、人生が全く変わってしまった人が聖書に何人も登場しますが、今日はその中の一人、「ザアカイ」という人の話です。ある時、イエス様がエリコという町にお出でになった時の出来事です。エリコは、世界最古の町の一つです。聖書では、旧約聖書で、モーセによってエジプトから脱出したイスラエルの民が、40年の荒野での生活の後に、ヨシュアによって約束の地カナンに入った時に、「エリコ陥落」の奇跡が起きました。新約聖書では、今日の「ザアカイ」の話が有名です。

中心聖句「人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです」（10）。

1　ザアカイとはどんな人。

（1）取税人のかしらで、金持ち（2）。

ザアカイという名前の意味は「清い」「正しい」で、日本人の名前の「清」とか「正」にあたるでしょう。

職業は、取税人のかしらでした。エリコの町の税務署の署長と考えてください。そして金持ちでした。この取税人は、ローマ帝国の税金を取り立てる下請け業者でしたので、不当に税金を徴収することも多く、人々からは罪人を呼ばれ、嫌われていました。

金持ちになったのも、そのような不正な集金行為によるものと思われます。現に彼は後で、「だまし取ったこと」を認めています（7）。

（2）イエスがどんな人か見たいと思った（3）。

ここに、ザアカイの心の中が見えます。彼は、社会的な地位も得、金持ちにもなりました。その彼が「イエスがどんな人か見たいと思っていた」のです。これが単なる好奇心ではなかたったことが、彼の行動から分かります。彼は背が低かったので、群衆にさえぎられて見ることができなかった時、あきらめずに前方に行き、いちじく桑に木に登って、イエスがそこをお通りになるのを待ったのです（4）。

彼の心は、強くイエスに惹かれていたのではないか。

イエスは社会的な地位があるわけでもなく、金持ちでもなかった。しかし、人々に愛され、多くの人がイエスを慕って、付き従っていた。しかし、ザアカイは、地位も金も手に入れたが、人々に嫌われ、自分を慕う者はいなかった。

例話

① 人は、自分にないものを持っている人に惹かれます。
おとなしい人は、活発な人に。

なぜ、ザアカイは、人に嫌われるような職業を選んだのでしょう。彼が「背

が低かった」ことにヒントがありはしないか。背が低いということで、「劣等感」を持っていたのではないか。人はだれでも劣等感を持っています。

例話

② K大の学生の劣等感。国立に行けなかった。
国立大生の劣等感。希望の学部に行けなかった。

この彼の劣等感が、彼に人の嫌う職業を選ばしたのではないか。そして、彼は社会的な地位も得、金持ちになり、劣等感を克服した。が同時に、彼は大切なものを失っていました。それは、人に愛されることです。そして安心、平安、平和な生活です。

（3）いちじく桑の木に登った（優越感）。

ザアカイはイエスに会いたかったのです。しかし、イエスの前に出ていくことができませんでした。彼の優越感が邪魔をしたのです。ですから、いちじく桑の木に登り、そこからイエス様を見ることにしたのです。

例話：男性会社員が教会に来ない理由の多くは、「教会などに行ったら、負け犬と見られる。病気か、奥さんとうまくいっていないからかなど」。

あなたは、ザアカイのように、お金だけを目当てに生きて来たのではないかもしれません。しかし、人生の真の目的が分からずに、何かを目指しつつも、満たされずに来たとするなら、今、イエス様はあなたに近づいてくださいます。

2．イエスがザアカイの前に立たれる。

（1）ザアカイ（5）。

イエスは、その場所に来られたとき、木に登っているザアカイに声をかけられました。「ザアカイよ」。イエス様はなぜザアカイのことを知っておられたのか。

① イエス様は、神様だから何でも知っておられる。
② イエス様は、弟子たちにお聞きになった。この町で一番罪深く、人に嫌われている人はだれか。

イエス様は、きょう、あなたのことを知っておられます。そして、あなたにも声をおかけになるのです。

（2）急いで降りてきなさい。あなたの家に泊まることにしてあるから（5）。

イエス様は、彼を招かれたのです。そして、彼の家に泊まることにしていると言われました。このような優しいことばを聞いたのは、初めてのような気がしたでしょう。彼がいつも耳にしていたのは、7節のようなことばです。罪人、悪党。だれも彼の家に泊まる者はありません。しかし、イエス様は泊まろうとおっしゃった。

（３）ザアカイは、大喜びでイエスを迎えた（6）。

こんなに嬉しいことはありません。イエス様の方からザアカイの家にきてくださるのです。このことは、聖書の大きな真理を語っています。聖書は、人間が神の所に行くのではなく、神が私たちの所に来てくださると教えています。

私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛してくださったと。

そして、ザアカイは、「大喜びでイエスを迎えた」のです。私たちに出来ることは、イエス様を迎え入れることです。

３．出会いの結果

話は、クライマックスへと進みます。

（１）財産の半分は貧しい人に、だまし取ったものは四倍にして返します（8）。

ザアカイの心が変わりました。これまで、金、金、金で生きて来ました。金が彼の生き甲斐でした。しかし、今、彼は自分の金を全部人に与えようとしています。それまでの生き方を変えようとしているのです。何がそうさせたのでしょうか。それは、イエス様の「愛」です。

イエス様は、ザアカイを見捨てていないのです。彼を救おうとされています。私たちを変えるのは、命令ではなく、愛なのです。

（２）救いがこの家に来た。「人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです」（10）。

イエス様によってザアカイは救われました。人々の非難は彼を変えもしなければ、救いもしませんでした。イエス様がザアカイを変えたのです。イエス様は、私たちを変え　てくださいます。だめな私たちを変えてくださるのです。

あなたは変わりたいと思いませんか。もっと正しく生きたいと思いませんか。もっと人を愛せるようになりたいと思いませんか。でも、自分を変えられますか。イエス様は、あなたを変えてくださいます。

（３）最後のチャンス

この日は、ザアカイがイエス様にお会いできる最後の日でした。この一週間後にイエス様は、十字架で殺されたのです。

なぜでしょう。だれにも分かりませんでした。しかし、分かる時が来ました。イエス様は、ザアカイの罪を負って死んだのです。ザアカイのためだけではありません。私たち、神に罪を犯したすべての人々のために、身代わりとなって死んだのです。

招き：キリストを救い主として受け入れていない人への勧め。

イエス様は、ザアカイを救ってくださいました。あなたは、今日までイエス様を知らなかったかもしれません。しかし、イエス様はあなたを知っておられます。そ

して、あなたの前に立ち止まり、あなたに声をかけてくださっているのです。そして、ザアカイのように、大喜びでイエス様を迎えることを望んでおられでおられるのです。今日、今、イエス様のもとに帰っていらっしゃい。イエス様は、それを望んでおられます。

今日、私たちは、どのようにして、主イエス様にお会いすることができるのでしょう。

それは、イエス・キリストのことを聞くことによってです。聞くことによって、信仰が与えられ、私たちは信仰によってイエス様を知るのです。

これは、当時も今も、まったく同じです。当時の人は、イエス様を見ることが出来ました。しかし、イエス様を知ったのは見た人ではなく、信じた人でした。多くの人は、イエス様を見ても、イエス様を信じなかったので、知ることはありませんでした。

例話：アメリカに私の友人がいました。彼は、朝鮮戦争当時、日本にいて、私の友人となりました。長い間、音信不通でしたが、数年前から、メールのやりとりをするようになりました。そしてある時から奥さんからフェイスブックに友達要請がありましたが、奥さんなので答えずにきました。が、つい先日、思い切って友達になると、すぐに奥さんからのメッセージが届きました。最初のものは、2017 年 7 月のものでした。そして、2018 年 2 月のものに、ご主人が天に召されたことが記されていました。
私は、本当に申し訳なく思い、返事をしなかったこと、ご主人が天に召されたことのお悔やみを伝えました。ご主人は 2017 年頃から具合が悪く、奥さんが代わって私と連絡を取りたいと思って何度も試みていたのです。

このことから二つのことを学びました。

一つは、何度も私は呼びかけられていたのに、知らずに何も応えなかったこと。イエス様は私たちに何度も呼びかけておられるのに、私たちはそれを知らず、応えなかったこと。

もう一つは、私はその奥さんに一度もお会いしたことはないけれど、今メールによって知ることが出来ていることです。私たちもイエス様にお目にかかったことはありませんが、イエス様の手紙（聖書）によってイエス様を知ることが出来ることです。

今、私たちは、イエス様を、聖書によって知ることができます。そして、私がご主人に会いたいと言うと、奥さんは、「天国に行ったら会えますよ」と言ってくれました。私たちも天国に行ったら、イエス様にお目にかかることが出来るのです。

「見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしは、彼のところに入って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする」（黙示録 3:20）

「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」（使徒 16:31）
「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」（ヨハネ 3:16）